

## 手編みのマフラーの宝物

from Syria シリア



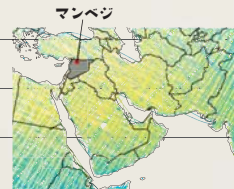
4年前、青年海外協力隊員としてシリアの保健局で活動していた時のこと。初めて現地で冬を迎える私に、同僚の助産師がこう声を掛けてくれた。

「私たちがマフラーを編んであげるわよ」

毎日、毎日、仕事終わりに何人もの優しい同僚の手によって編まれた真っ赤なマフラーは、私の一生の宝物になった。

私が知っているシリアは、そんな優しさと思いやりの気持ちにあふれ、平和な時間がゆっくりと流れていた。今は混乱状態が続き、電話もつながらず、かつての同僚の声を聞くこともできない。私が助産師を目指すきっかけをつくってくれた彼女たちは、シリアで生きている。いや、生きていてほしいと強く願っている。

いつかまた、平和になったシリアで一緒に働ける日が来ますように。そしてまた、家族みんなが食卓を囲めますように。シリアは私にとって第2の故郷だから。



撮影：中川智恵（シリア／青年海外協力隊OG）

## あなたの作品募集中！

「my photo」では、あなたが撮影した写真を募集しています。貧困や環境問題などをテーマにした写真、国内外問わず国際協力の最前線で活動に励む日本人や開発途上国の人の姿、テレビや新聞ではなかなか報じられない土地の風景や人々の暮らしなど、国際協力や途上国を身近に感じられる写真を、撮影時のエピソードを添えてご応募ください。応募作品の中から毎号1枚、本コーナーで紹介させていただきます。

**応募条件** ①応募者本人が撮影した作品に限ります。②被写体に関する肖像権は、応募者の責任において了解が得られているものとします。③写真は、解像度が300万画素以上(目安)で撮影されていること、また画像の記録形式はJPEGを推奨します。

**応募方法** お名前、連絡先(電話番号とEメール)、エピソード(300～350字)、記名の可否をご記入の上、写真とともに応募先アドレスまでEメールでお送りください。  
\*応募作品は本コーナーの他に、事前確認の上でJICAの広報活動に活用させていただく場合があります。ご記入いただいた個人情報はこちら以外の目的では使用いたしません。また、応募作品はご返却いたしませんので、あらかじめご了承ください。

応募 / 問い合わせ先

jica-photo@idj.co.jp

(「mundi」編集部宛)